

インフォメーション

春夏製品のご案内

こてっちゃん®

3つの味で新登場



従来のやきにく・野菜炒め用の用途別から、味の違いを明確にし、「コク味噌味」「旨み醤油味」「にんにく塩味」の3つの味の「こてっちゃん」に生まれ変わりました。



こてっちゃん コク味噌味 リニューアル

こてっちゃんの美味しさのポイントは、クセになるコクと旨みです。3種類の味噌を使った合わせ味噌、ローストガーリックを使用したコクの深いたれで仕上げました。



こてっちゃん 旨み醤油味 新発売

ごはんによく合う旨みの効いた醤油味のこてっちゃんです。本醸造醤油と焦がし醤油を使用した深い旨みが特長です。また、ローストガーリックを使用する事で、コクと深みのある味に仕上げました。玉ねぎ等の野菜と炒めていただくだけで野菜炒めが出来上がります。



こてっちゃん にんにく塩味

ローストガーリックを使用したあっさりしながらもコクと旨みのあるたれに2種類のペッパーを加え、風味良く仕上げました。クセになるコクと旨みが美味しさのポイントです。

株主ご優待のお知らせ

エスフーズが株主の皆さまだけにお届けします。

ご優待内容

■2月末の株主さま

- ◎2,000株以上保有の株主さま
「10,000円相当の国産牛肉、または、国産豚肉」
- ◎500~1,999株保有の株主さま「3,000円相当の自社製品」
- ※上記の国産牛肉（豚肉）および自社製品は11月にお送り致します。

■2月末、8月末の株主さま

- ◎100株以上保有の株主さま一律「自社グループオリジナル商品特別販売」
- ※6月、11月に対象株主さまにカタログをお送り致します。

国産牛肉（和牛） 弊社が厳選した国産牛肉の逸品。しゃぶしゃぶ、ステーキいずれか、株主さまのご指定のカットでお届けします。



しゃぶしゃぶ



ステーキ

※写真はイメージです。料理写真の野菜、什器等はご優待セットには含まれておりません。

会社概要

社名 エスフーズ株式会社
SFoods Inc.(コード番号2292東証1部)
設立 昭和42年5月22日
代表者 代表取締役社長 村上真之助
資本金 42億9,835万円
事業内容 食肉等の製造・卸売事業、小売事業、外食事業
(グループ)

株式メモ

■事業年度 3月1日～翌年2月末日
■期末配当金受領株主確定日 2月末日
■中間配当金受領株主確定日 8月31日
■定時株主総会 毎年5月
■株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
■株主名簿管理人 事務所 大阪府中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 郵送物送付先 〒168-0063 東京都杉並区泉和二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先 電話 ☎0120-782-031 (通話無料)
インターネット ホームページURL http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html

(ご注意)

【株式に関する住所変更等のお手続きについてのご照会】

証券会社の口座をご利用の株主様は、三井住友信託銀行株式会社ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。証券会社の口座をご利用でない株主様は、上記電話照会先へご連絡ください。

【未払いの配当金について】

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

■上場証券取引所 東京証券取引所
■公告の方法 電子公告により行う
公告掲載URL
http://www.sfoods.co.jp/investor/koukoku.html
(ただし、電子公告によることが出来ない事故、その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

■単元株式数 100株

【特別口座の口座管理機関変更のご案内】

2016年5月25日をもって、特別口座の口座管理機関を三菱UFJ信託銀行株式会社から三井住友信託銀行株式会社へ変更いたしました。



エスフーズ株式会社 〒663-8142 兵庫県西宮市鳴尾浜1丁目22番13 TEL.0798-43-1065(代表)
http://www.sfoods.co.jp/



SFoods News

平成29年2月期

平成28年3月1日～平成29年2月28日



代表取締役社長
村上 真之助

事業の概況に ついてのご報告

当連結会計年度における日本経済は、全般的に景気は回復基調にあるように見受けられますが、欧米での政情不安や中国経済の失速などの国際的環境変化もあり、先行き不透明な状況にあります。

食肉業界においては、長引く国内消費意欲の減退や長期的な食糧資源の逼迫、販売競争の激化により、厳しい経営環境が続いております。このような状況において、当社グループは、基本戦略として進めております食肉事業の垂直統合を、より安定的で確実なものに育てるべく、事業の拡大と強化を進めております。

食肉等の製造・卸売事業においては、特に川上部門に注力しました。北海道で豚肉生産・加工を行う「日高食肉センター」の稼働、米国では牛肉生産・加工を行うAURORA PACKING COMPANY, INC.を前年度にグループ化し、本年度はこれらの安定稼働と拡大に努めました。また、昨年8月には、鶏肉生産事業を行う内外食品株式会社をグループ化しました。これにより、当社グループは、日本の食肉のほとんどを占める牛・豚・鶏肉すべての生産事業に関わることに、

なりました。製品事業では、定番商品である「こてっちゃん」や「こてっちゃん牛もつ鍋」などの販売基盤の強化に努めると共に、株式会社フードリエを中心に、



こてっちゃんコク味噌味 (調理例)

ハム・ソーセージ事業の再編成と、グループ各社の協力体制の下、新製品の開発と販売促進に取り組みました。食肉等の小売事業においては、既存店活性化、新店の立ち上げや新業態店舗への取り組み、不採算店の閉鎖を継続してまいりました。また各種イベントに沿った提案型の販売は、全店が参加し情報を相互に共有することで、より効果的な提案の実現を図ってまいりました。

食肉等の外食事業においては、焼肉・しゃぶしゃぶチェーン事業とステーキレストランチェーン事業のそれぞれにおいてメニュー及び料金の改定や店舗リニューアル等、競争力向上のための施策を実施すると共に、不採算店の閉鎖も実施しております。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は2,812億3千3百万円(前連結会計年度比15.9%増)、営業利益は105億5千5百万円(前連結会計年度比25.2%増)、経常利益は108億4千3百万円(前連結会計年度比23.3%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は64億9千9百万円(前連結会計年度比27.8%増)と増収増益になりました。

今後の見通し

国際的な保護貿易主義の台頭などで国際的貿易環境が不透明化する中、日本経済は将来を予見することが非常に困難な状況となっております。このような環境下、当社は主に国内における既存事業の経営基盤安定化を図りつつ、国内外の新規事業による成長戦略の発展に取り組んでまいります。

食肉等の製造・卸売事業においては、川上部門の更なる強化を図ります。国際的な資源競争激化により、食肉の確実な供給源を確保することは、総合食肉企業としての責務と考えており、国内外における調達網の充実は今後も積極的に進めてまいります。当社で独自に開拓したもの



AURORA ANGUS BEEF

については、商品価値の高いブランドに育てることにより、差別化と訴求力を高めていきます。また、首都圏での営業力を強

化するため、千葉県船橋市に、製造・卸・流通機能を統合した拠点を開設を行います。

製品事業については、「こてっちゃん」シリーズの知名度の高さを生かしたマーケティング戦略により、販売力の底上げを図ります。グループ企業それぞれの強みを生かし、グループ内企業の垣根を越えた協力関係を促進し、従来攻め切れていなかった販売チャネルへの浸透を進めます。グループ内で製品加工事業を行う企業が増えておりますので、グループ横断的な品質保証体制の構築とフードディフェンス体制の強化により、得意先及び社会からの食品の安心安全への要求の高まりに応じていきます。

食肉等の小売・外食事業においては、食肉小売店をテナントとして展開する事業を中核と位置付け、日本一の食肉小売店グループを実現することを目標としております。また、その延長として消費者に密着した食肉関連



アウトバックステーキハウス梅田店 ©ナカサンドパートナーズ

ビジネスである外食事業も今後の強化すべき領域であるとの方針を明確にしており、今後も同様に食肉関連ビジネスに相乗効果が期待できる事業への進出を図ってまいります。

グループ経営の向上については、事業領域が拡大していることと、海外事業の比重が高まりつつあることにより、グループを統括した一元管理体制の構築を進めてまいります。また、企業の拡大に合わせた社員の成長を図るため、階層別社員教育や全社教育の実施により、全体的な社員レベルの底上げに取り組めます。

次期の見通しにつきましては、売上高3,100億円(前連結会計年度比

10.2%増)、営業利益115億円(前連結会計年度比9.0%増)、経常利益120億円(前連結会計年度比10.7%増)、親会社株主に帰属する当期純利益70億円(前連結会計年度比7.7%増)を見込んでおります。

中長期的な会社の経営戦略

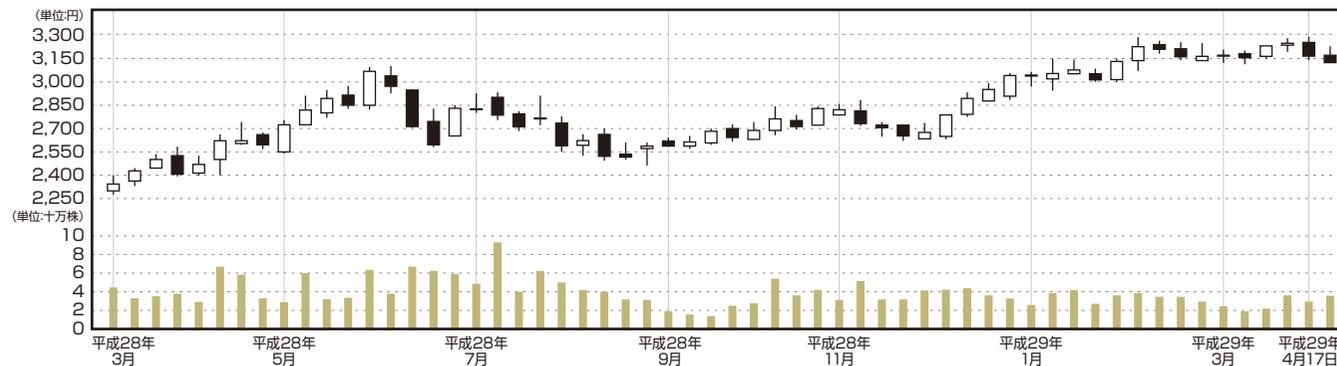
当社グループは、経営の基本方針に沿って食肉の総合企業集団を目指しており、食肉を中心とした食品の安定的な供給体制の確立に引き続き取り組んでまいります。具体的には、食肉の生産、調達、加工、流通、及び最終消費者向け販売・サービスという食肉流通の川上領域から川下領域まで一貫したグループ内食肉サプライチェーンの構築を進めます。更に、国内に留まらず海外における食肉流通機能も拡充することにより、社会情勢の変動への対応力を高めてまいります。

営業成績と財産状況の推移(連結)

区分	第49期 平成27年2月期	第50期 平成28年2月期	第51期 平成29年2月期	第52期見通し 平成30年2月期
売上高	214,103	242,566	281,233	310,000
営業利益	8,230	8,428	10,555	11,500
経常利益	8,601	8,795	10,843	12,000
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,343	5,086	6,499	7,000
総資産	98,755	114,330	134,271	
純資産	49,768	54,844	64,524	
1株当りの年間配当金	28円	32円	35円	38円

単位：百万円(配当金を除く)

●株価の推移と株式の売買高



※東証・適足データ